

(1) 1級水系流域治水プロジェクトに基づく 各種対策のフォローアップについて

※各構成員にて今年度実施いただいた取り組み内容及び次年度以降の取り組み内容の御報告と各種対策の代表事例をご紹介します。

雨竜川外地域部会

- ・滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、
奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、
妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、
沼田町、幌加内町
- ・札幌管区気象台
- ・旭川地方気象台
- ・空知森林管理署
- ・北海道水源林整備事務所
- ・空知総合振興局
- ・上川総合振興局
- ・札幌開発建設部

滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、
奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、
妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、
沼田町、幌加内町

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
滝川市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	● 普通河川の伐開及び浚渫 ・手島川、南手島川、大曲川、東陽川、第2熊穴川、第1江部乙川 ● 田んぼダム ・市内6組織中5組織において田んぼダムを実施		● 普通河川の伐開及び浚渫 (R5予定)足島川、新川、ポンクラ川、宮下川、第2小野川 (R6予定)第2江部乙川、第1熊穴川、第1西大川、銀川 ● 雨水管の整備 ● 田んぼダム 田んぼダムを継続して実施	
	被害対象を減少させるための対策	● 立地適正化計画策定(3月末予定)			
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	● 水害タイムライン運営協議会の開催 ■ R4.7.29 スタート会議開催 ・町内会連合会連絡協議会から会長等が参加 ● 地域防災研修会の開催 ■ R4.6.12 「ザ・避難所体験会」の開催 ・朝日町東地区連合協議会から50名が参加 ● 道の駅たきかわの防災拠点としての整備(北海道開発局と連携しての整備)		● 滝川市水害タイムライン運営協議会の開催 ・地域住民の意見を取り込みながら継続的に協議会を開催	

■令和4年度 取組内容

- ・ R4年度においては、普通河川の伐開、浚渫として、「手島川」「南手島川」「大曲川」「東陽川」「第2熊穴川」「第1江部乙川」について実施
- ・ 地域住民に対し、各種防災研修や防災教室を実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

普通河川の伐開及び浚渫

浚渫状況



伐開状況



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

地域住民に対し、各種防災研修や防災教室の実施

小学校での防災教室



町内会対象の防災研修



次年度以降の予定：普通河川の伐開及び浚渫の実施、水害タイムライン運営協議会の継続
雨水管の整備

■地域防災研修会の開催(滝川市の取り組みの一例として)

目的: 住民の防災意識の向上を図るため、できるだけ具体的な事例を交えた講話さらには具体的な経験を通じて、その重要性を確認してもらう。特に災害時の食とトイレの問題については、それぞれ実際のアイテムを交え、その家庭に当てはめての必要性や有用性の検討を入口として、災害から自分たちの身をいかに守るかを考えるきっかけとしてもらう。

主催: 滝川市 共催・協力等: 朝日町東地区町内会連合会

所要時間	イベント2時間 (+準備後片付け2時間)
場所	滝川市中地区コミュニティセンター
対象・人数	一般市民(町内会会員)・50名
タイムテーブル	08:30 準備(会場への資機材運搬、搬入、その他セッティング等) 09:45 受付開始 10:00 開会、主催者挨拶 10:05 講話(滝川市防災危機対策課長) 〇 滝川市ハザードマップの読み方 〇 災害時の2大不安要素である食とトイレ対策について 10:30 避難所設置体験 〇 フンタッチパーティション、ダンボールベッド、災害用トイレ組立 11:20 災害用トイレ(ラップポン)疑似体験 11:30 非常食(アルファ化米)の試食 11:45 アンケート記入 12:00 アンケート回収、閉会 12:30 撤収完了
使用機材	フンタッチパーティション、ダンボールベッド、ラップポンバッテリー (資機材搬入作業時) おごき車、パワーリフ
担当者の感想	コロナ禍で町内会イベントが久しく開催できていなかった中で、小さな子供から高齢者まで幅広い年代の参加者が集まっていた様子、和気あいあいとした中にもまじりに講話に耳を傾けてくれていた参加者の様子が印象的だった。 一つ、住民にとって重要な避難時のシグナルともいえる警戒レベルの周知について、念を押して「全員避難は警戒レベル4!」と訴えたつもりだったが、わずか1時間弱の時間経過とともに、かなりの参加者の中でレベル3とレベル4の判別があいまいになっていたということがわかり、さらなる工夫が必要だと感じた。



主催者挨拶



講話(滝川市ハザードマップの読み方)



災害用トイレの搬送



非常食(アルファ化米)の試食



参加者の聴講の様子



避難所設置体験作業

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
砂川市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	○防災意識の啓発活動 ・子ども防災教室(8名) ・中央小学校1日防災学校(114名) ・北光小学校1日防災学校(21名) ・北地区コミュニティセンター 冬期避難所運営訓練(24名) ○洪水ハザードマップの更新		○防災意識の啓発活動	

これまでの取り組み

●子ども防災教室(R4.9.10)

内容：避難に必要なものを考えるワークショップ、防災食の作り方と試食、避難所体験



●中央小学校 1 日防災学校 (R4.8.27)

●北光小学校 1 日防災学校 (R4.9.12)

小学生の防災への理解を深めるため実施。
内容：防災かるた、防災〇×クイズ、段ボールベッドづくり等

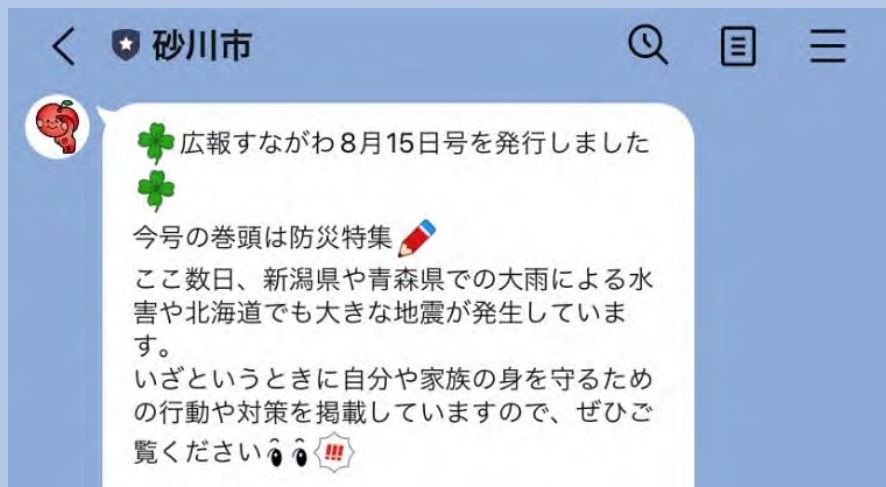


今後の取り組み

今後も、1 日防災学校、防災教育イベント、ネイパル砂川主催の防災キャンプなど様々な防災関係行事に積極的に協力し、児童生徒に対する防災意識の向上を図る。

これまでの取り組み

- 様々な手段による広報の実施
広報すながわ
地デジ広報
SNS公式アカウントなど



- 北地区コミュニティセンター冬期避難所運営訓練 (R4.12.12)
冬期間における停電を想定した訓練
受付、炊き出し、段ボールベッド設営



今後の取り組み

「自らの命は自ら守る」意識の醸成のため、様々な手段による広報や各種訓練や出前講座を通じて避難行動の理解促進を図る。

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み(予定)	地域住民 参加状況
歌志内市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・ペンケ河川改修事業 1) 開発期成会への事業促進要望 2) 北海道河川環境整備促進協議会を通じて、事業着手促進要望 3) 北海道への直接的な事業早期着手要望 4) ヤマメの稚魚放流事業(ソフト事業)を通じ河川への意識付けを行った。	ヤマメの放流事業は継続実施。 住民よりペンケ歌志内川の河道掘削など、河川浚渫や立木伐採の要望を受け、随時対応しているところ	R4年度同様な取り組みとあわせ、各種河川護岸の整備または、維持管理の取り組み強化	R4年度と同様
	被害対象を減少させるための対策	令和3年度、北海道の土砂災害警戒区域に関する基礎調査終了により、歌志内市全域にわたり、土砂法の指定に向けた回答書を一括提出、市全域の特別警戒区域等の範囲が定められた。	土砂法指定に向けた住民への情報提供及び土砂法指定の有無にかかわらず、避難場所へのルート再確認の周知	災害危険区域と家屋倒壊等氾濫想定区域のおそれのある地域の宅地造成等片内検討事項の徹底	住民への丁寧な説明会の開催など
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災ハザードマップ、防災説明会等	防災説明会として出前講座等を実施。	R4年度同様な取り組み強化	R4年度と同様

【歌志内市】各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

・ R4年度においては、継続要望している「ペンケ歌志内川改修事業における各種団体を通じて、早期事業着手の要望、住民説明会の開催など。また、文珠第2町内会・民生委員児童委員協議会におけるハザードマップ説明会を実施し「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為のソフト対策

・ヤマメ稚魚放流事業



・実施内容：川の大切さをアピールすることを目的に、子ども達に河川への関心を持ってもらう

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

・文珠第2町内会説明会等



・実施内容：地域の水害リスクや避難に必要な情報・判断・行動を取るための説明会

次年度に向けた予定

- ・ペンケ歌志内川改修事業に向けた、北海道への早期着手要望。
- ・土砂災害警戒区域指定後におけるハード対策の要望。
- ・北海道所管の治山事業による事業促進の要望。

【歌志内市】住民参加 実施状況について

■協議内容

- ・ R4年度実施した文珠第2町内会・民生委員児童委員協議会への防災教育の実施による説明状況
- ・ 防災ハザードマップ(流域治水プロジェクト等)に関する情報共有など

文珠第2町内会説明状況写真



民生委員児童委員協議会説明状況写真



【地域住民からのコメント住民参加方法について】 歌志内地域防災リーダー候補者 歌志内市町内会連合会会長(聞き取り)

- ・ハザードマップを用いた訓練等の作成講習等も実施していければよいと思う。
- ・防災リーダー的な存在を増やす必要があると感じた。
- ・引き続き情報共有等お願いしたい。

など

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
深川市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	■音江地区下水道雨水管の整備着手(実施設計)実施(工事) ■深川市緊急浚渫推進事業(冬期発注を予定) オサナンケップ川河道掘削予定(L=900m) ・地域要望により実施している事業。 ■緊急自然災害防止対策事業(冬期発注を予定) 吉住川河川整備予定(L=50m)		■音江地区下水道雨水管の整備実施(工事) ・工事前に関係住民に工事概要等説明 ■深川市緊急浚渫推進事業 オサナンケップ川河道掘削予定 ■緊急自然災害防止対策事業 吉住川河川整備予定	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	■防災拠点としての市役所新庁舎建設 ■「田んぼダム」の効果等について広報(8月号)掲載 ■防災教室の開催支援・協力 ■地域における防災訓練の開催支援・協力 ■自主防災組織の組織化		■防災拠点としての市役所新庁舎開庁 ■防災に関する広報掲載 ■防災教室の開催支援・協力 ■地域における防災訓練の開催支援・協力 ■自主防災組織の組織化	

【深川市】 各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

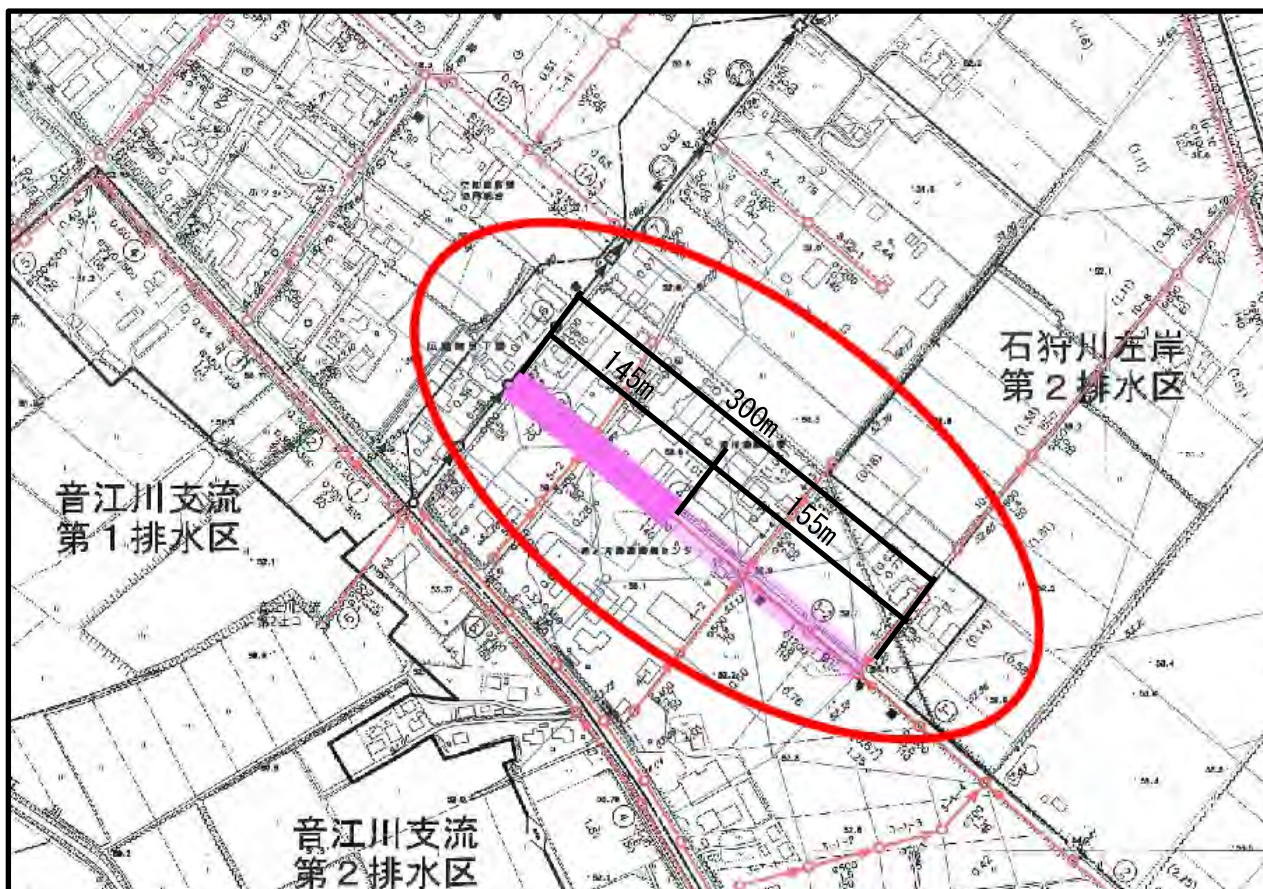
- ・ R4年度においては、音江地区広里工業団地雨水管整備の着手。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

・広里工業団地雨水管整備

浸水想定区域である本地域において、今後の浸水被害を未然に防ぐため道路整備と合わせ雨水管整備を実施するもの。

延長	L=300m
管種口径	HPφ1200
事業予定年度	R3～R5実施
令和4年度実施	L=145m



令和5年度 実施予定延長 L=155m

【深川市】 各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

- ・ R4年度においては、3,000mの測量、600mの設計、50mの工事の着手。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

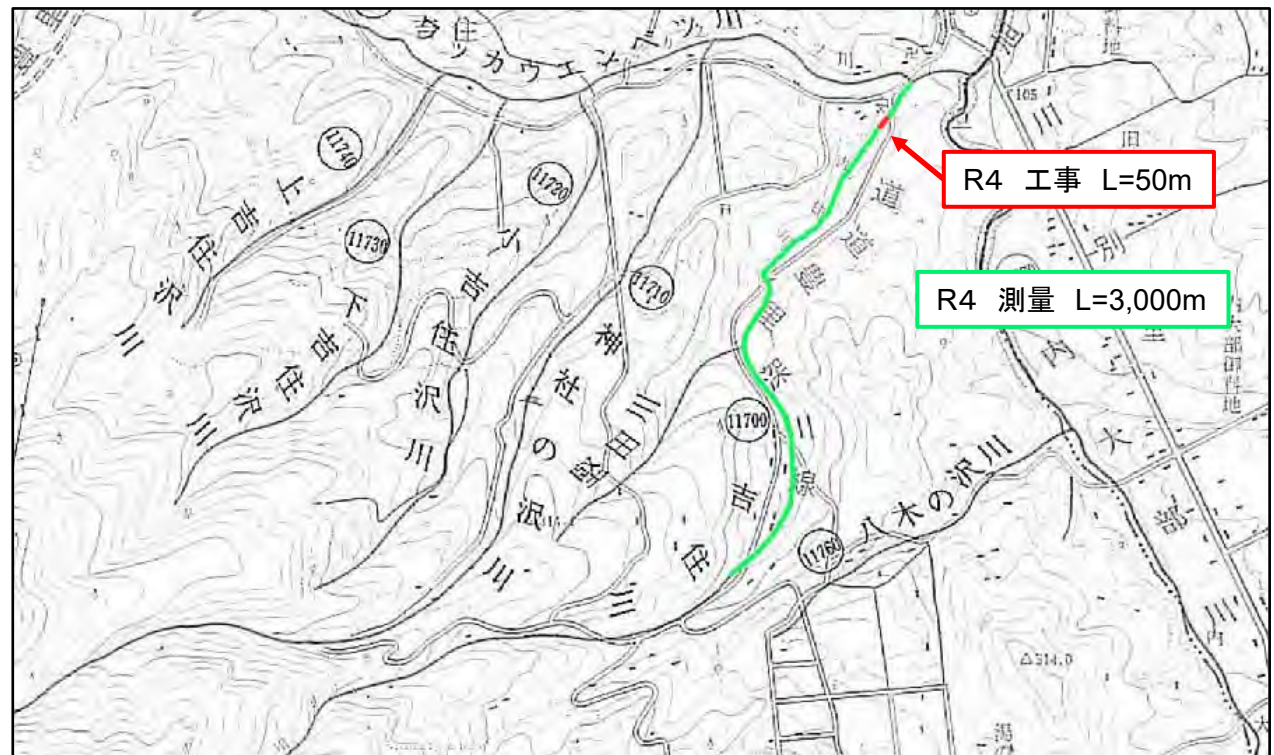
・吉住川整備

重要水防区域に指定されている本地域は豪雨のたびに氾濫しており、河岸の浸食・崩壊が進行した際には、沿線農地に甚大な農業被害が予想される。

このことから、被害を未然に防ぐべく、護岸、護床の整備を実施するもの。

事業内容	護岸・護床
事業予定年度	R4～R7実施

吉住川位置図



令和5年度 実施予定延長 L=50m

【深川市】 各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

- ・ R4年度においては、冬季に浚渫推進事業として、河道掘削を900m実施。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

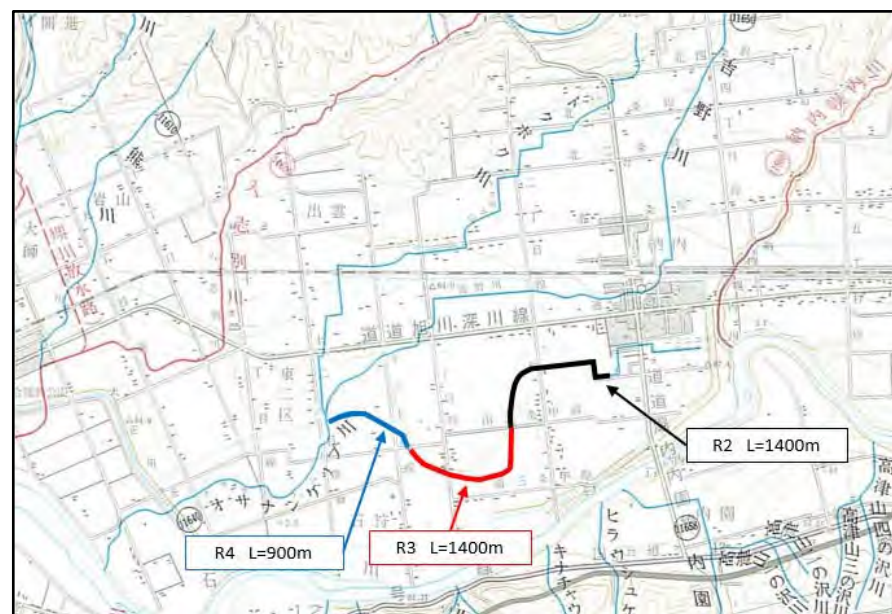
これまでの出水等による土砂堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)しており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にあります。

これまでの地域要望もあることから、石狩川水系オサナンケップ川河道掘削を年次的に実施しています。

土砂掘削状況



オサナンケップ川位置図



○工事延長

R2年度 L=1,400m

R3年度 L=1,400m

R4年度 L= 900m

■令和4年度 取組内容

- ・ 防災拠点の整備として市役所新庁舎の建設工事中。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○防災拠点施設の整備として耐震化や浸水深を想定しつつ、現在の深川市役所敷地内において新庁舎の建設に向け取り組んでおり、令和3年度より建設工事を着工し、今後は執務室内のOAフロア工事や床や壁の内装仕上工事に着手していく予定。

○基本方針

1. 市民に親しまれ利用しやすい庁舎
2. 市民の安心・安全を守る災害に強い庁舎
3. 人と環境にやさしい庁舎
4. 効率的で安全な庁舎

新庁舎イメージ図



令和3年度着工。令和5年秋供用開始予定

■令和4年度 取組内容

・防災情報の周知や提供のため、広報記事の掲載、防災教室開催協力、自主防災組織の組織化に努めています。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○防災教育として、出前講座による防災教室等を実施しています。

○避難所における活動のため、地域自主防災組織の組織化を進めていく必要があり、関係する町内会長等にその必要性と組織化について説明。



避難所運営ゲーム～Doはぐ～の様子

防災情報の周知や提供については、継続的な取り組みとなるよう実施を予定。

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
奈井江町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・内水被害に備えるため、町内2地区にある排水機場の維持管理及び水田の貯留機能向上を図るため田んぼダムへの普及啓発の実施		・排水機場の機能が十分に発揮されるよう、適正な維持管理に努める ・パンフレット等で田んぼダムへの普及啓発を継続する	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	■「奈井江町地域防災セミナー」の開催 ・開催日 令和4年8月9日(火) ・講師による 【講義】避難所の設置と運営協力 【グループ討議】避難所運営ゲーム北海道版「Doはぐ」	・地域住民20名、警察署員4名、役場職員7名、計31名がセミナーに参加	・定期的な地区防災訓練・防災セミナーを実施する ・中小河川のハザードマップを作成予定 ・水害に強い庁舎整備(令和6年完成予定)	
		■1日防災訓練 ・開催日 令和4年9月9日(金) ・奈井江中学校で、防災ハザードマップの説明や避難所設営(プライベートルームや多目的ベッドなど)を体験。	・生徒90名参加	・学校、教育委員会と連携することにより、防災関係行事に積極的に参加し、児童生徒に対する防災意識の高揚を図る	
		■1日防災教室 ・開催日 令和4年10月14日(金) ・奈井江商業高校で、防災ハザードマップの説明や避難所設営(プライベートルームや多目的ベッド、自動ラップ式トイレ)を体験。	・生徒46名参加		

【奈井江町】 各種対策の概要について

奈井江町

■令和4年度 取組内容

- ・ 自然災害による内水被害に備えるため、町内2地区にある排水機場の維持管理を行い、「流域治水」の推進を図るとともに田んぼダムへの普及啓発の実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



次年度以降の取組

排水機場の機能が十分に発揮されるよう、適正な維持管理に努める。
パンフレット等で田んぼダムへの啓発を継続する。

【奈井江町】 各種対策の概要について

奈井江町

■令和4年度 取組内容

- ・「奈井江町地域防災セミナー」の開催（参加者）地域住民20名、警察署員4名、役場職員7名
- 【講義】 避難所の設置と運営協力 【グループ討議】 避難所運営ゲーム北海道版「Doはぐ」

【講義】避難所の設置と運営協力



【グループ討議】 避難所運営ゲーム北海道版「Doはぐ」



次年度以降の取組

定期的な地区防災訓練・防災セミナーの実施及び中小河川のハザードマップを作製予定
水害に強い庁舎整備（令和6年完成予定）

■令和4年度 取組内容

- ・ 奈井江中学校1日防災訓練の実施(生徒90名が参加)

防災ハザードマップの説明



避難所設営体験



次年度以降の取組

学校、教育委員会と連携することにより、防災関係行事に積極的に協力し、児童生徒に対する防災意識の向上を図る。

■令和4年度 取組内容

- ・ 奈井江商業高校1日防災教室の実施(生徒46名が参加)

防災ハザードマップの説明



避難所設営体験



次年度以降の取組

学校、教育委員会と連携することにより、防災関係行事に積極的に協力し、児童生徒に対する防災意識の向上を図る。

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
上砂川町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・洪水・土砂災害ハザードマップ(概要版)の作成(R4年7月全戸配布済み) ・R4.10.3 避難所設営体験の開催 ・R4.10.4～R4.10.10 防災備蓄品の展示		・防災備蓄品の展示、取扱要領の体験等	・自治会等との事前調整(参加人員等)

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

浦臼町		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・支浦臼内川護岸改修工事 ・田んぼダムに関する取り組み		・老朽化した護岸施設の改修工事を継続実施する予定 ・田んぼダムに関する取り組み	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・地域防災計画、水防計画の更新			

【浦臼町】 各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

- ・ 650mの測量・設計、585mの工事の着手。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

・支浦臼内川護岸改修

経年劣化した現施設では今後想定される大雨等が発生した際には、沿線農地に甚大な農業被害が予想される。

このことから、被害を未然に防ぐべく、護岸、護床の整備を実施するもの。

事業内容 護岸・護床
事業年度 R4実施

支浦臼内川位置図



令和5年度 実施予定延長 L=585m

■令和4年度 取組内容

- ・ 農業施設(田んぼダム81.6ha)により、雨水を貯留し、内水氾濫被害を軽減。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



浦臼町 田んぼダム 流域貯留施設(平常時)

令和5年度も同面積にて継続して取組予定

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

新十津川町		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	■町管理河川の浚渫事業の実施 ■地元農家等で構成される河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施 ・河川愛護組合(地元農家)191人	■令和4年8月28日(日)総合防災訓練において、自主防災組織の方に参加をしてもらい、流水体験などを行ってもらった。	■河川堆積土砂管理計画に基づく町管理河川の浚渫事業の実施 ■河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施 ・河川愛護組合員(地元農家)200人	■各行政区で防災訓練を実施し、災害時における対応等を学んでもらう。
	被害対象を減少させるための対策		■令和4年8月28日(日)総合防災訓練において、自主防災組織の方に参加をして災害時の対応などを訓練した。		■各行政区で防災訓練を実施し、災害時における対応等を学んでもらう。
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	■令和4年8月28日(日)総合防災訓練(町スポーツセンター) 内容:要支援者の移送訓練、災害時の避難行動、感染症対策を施した避難所設営など。 参加者数 141名 ■令和4年8月31日(水)1日防災学校(新十津川小学校) 内容:小学校1年生から6年生まで学年に応じた防災に関する内容の授業を実施する。 人数 312名 ■本町で組織している11自主防災組織において、年1回、防災研修を実施するよう啓蒙を行っている。 ・1月開催の区長会議連絡協議会において自主防災会長に研修の実施の啓蒙を行っている。	■令和4年8月28日(日)総合防災訓練において、自主防災組織の方に参加をして災害時の対応などを訓練した。	■令和7年8月 総合防災訓練 内容:未定 総合防災訓練については、3年に1度の開催とし、その時々に見合った訓練内容を実施する。 ■本町で組織している11自主防災組織において、年1回、防災研修を実施するよう啓蒙を行う。	■令和7年8月 総合防災訓練 令和4年度の総合防災訓練は感染症対策のため、参加者を制限していた。令和7年度はより多くの人に災害対応を学んでもらう。 ■各行政区で防災訓練を実施し、災害時における対応等を学んでもらう。

■令和4年度 取組内容

- ・町管理河川の浚渫事業の実施
- ・地元農家等で構成される河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施

河 川 浚 渫 事 業



河川愛護組合による河川の草刈り



次年度に向けた予定

- ・河川堆積土砂管理計画に基づく町管理河川の浚渫事業の実施
- ・河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
妹背牛町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・普通河川における河道掘削の実施 ・田んぼダムに関する取り組み ・排水機場の維持補修		・普通河川における河道掘削の継続 ・田んぼダムに関する取り組み ・排水機場の維持補修	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災訓練の実施		・防災訓練の継続	

【妹背牛町】 各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

・令和4年度においては、普通河川の河道掘削・排水機場の維持補修及び田んぼダムの推進を図った。また、町が主体となり防災訓練（避難所設営訓練）を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



普通河川の河道掘削

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



住民参加による避難所設営

次年度に向けた予定 など

・次年度以降においても、令和4年度同様の対策を実施していく。

【妹背牛町】 住民参加 実施状況について

■協議内容

- ・ 令和4年度に実施した防災訓練で道庁危機対策課支援員による防災講話を実施。
- ・ 地域住民参加による避難所受入れ訓練を実施。



防災講話



避難所受入れ訓練

【事後アンケートでの地域住民からのコメント】

- ・ 講話を聴いて防災士の資格を取りたいと思った。
- ・ 近所にはお年寄りの方等要支援者が多くいるので、このような訓練には進んで参加したいと思った。
- ・ 未経験者や参加対象を地区ごとに限定する等住民全体が防災意識をもてるような訓練にしてもらいたい。

など

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	地域住民参加状況
秩父別町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	○農業用施設による流出抑制対策(田んぼダム) ・田んぼダムの取組みを活動計画に位置付けたが、今年度は台風などの災害規模の降雨がなかった。	多面的機能支払事業における活動計画の中に田んぼダムの取組みを位置づけ、総会で決定し実行している。 ※コロナ禍のため、各地区の人数を制限し開催。	○農業用施設による流出抑制対策(田んぼダム)の継続	多面的機能支払事業における取組みを構成員参加による総会で決定し継続的に行っていく。
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	○防災訓練の実施(R3.11.20) ・防災行政無線メールの登録方法 ・避難所用間仕切り等の設置・撤去 ・バッククッキングを用いた炊き出し訓練 ○一日防災学校の開催(R3.9.14) ・小中学生を対象に実施 ・避難訓練と消防職員の講評 小学1年生 防災カルタ、紙スリッパ作り 小学2・3年生 ワンタッチテント設営 段ボールベッド設営 小学4年生以上 パーテーションの設置 全学年 水の抵抗(流水装置)の体験	町内会自主防災組織等 参加者総数42名 秩父別小学校 全学年 100名 秩父別中学校 全学年 48名 小中教職員10名	○防災訓練の実施 ・自主防災組織等の住民意見を踏まえ内容を検討し実施する予定。 ○一日防災学校の開催 ・内容は未定	町内会自主防災組織 小中学校

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について(秩父別町)

■令和4年度 取組内容

- ・R4年度においては、農業用施設による流出抑制対策(田んぼダム)に取り組んだ他、秩父別町防災訓練を実施し、避難所設置や炊き出し訓練など「流域治水」の推進を図った。
- ・また、小中学生を対象に1日防災学校を開催し、避難所設営や水害時の水をろ過するろ過装置の体験をするなど災害時の行動等について学びました。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【田んぼダムの取り組み】



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【1日防災学校で避難用間仕切り設置の様子】



■次年度以降も、田んぼダムによる流出抑制対策や自主防災組織を主体とした地域住民参加による防災訓練を継続的に実施し、流域治水の推進を図っていく。

流域治水協議会等への住民参加 実施状況について(秩父別町)

■協議内容

- ・R4年度実施した秩父別町防災訓練の実施内容に関して質問や意見、今後に向けた意見交換
- ・多面的機能支払事業に取り組む秩父別町活動組織構成員による総会時の意見交換
- ・小中学生を対象に1日防災学校の開催



(防災訓練)
住民参加による防災訓練(Doはぐ)



(活動組織総会)
※コロナ禍のため各地区の人数を制限し開催



(1日防災学校)
水のろ過体験(ろ過装置)

【地域住民からの意見等】※11/12防災訓練における参加者の意見から

- ・避難所運営等の机上訓練を体験し、大変さがよく理解することが出来た。
- ・防災訓練は大変有効な機会であり、より多くの住民が参加できるよう広めたらよい。

【雨竜町】 各種対策のフォローアップ (地域住民参加状況含む)

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

雨竜町		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・町内幹線排水路の維持補修工事 ・水田の貯留機能向上(田んぼダムへの取り組み) ・排水機場の試運転		・町内幹線排水路の維持補修工事 ・水田の貯留機能向上(田んぼダムへの取り組み) ・排水機場の試運転	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策				

【雨竜町】 各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

- ・町管理幹線排水路の浚渫工事を実施し、増水時における通水断面の確保を行った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



令和5年度については幹線排水路の浚渫工事を実施予定。
土地改良区と連携し田んぼダムの実施に取り組む。

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
北竜町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・更新川護岸整備工事を実施 ・美葉牛川護岸整備工事を実施 ・更新川浚渫工事を実施 ・沼ノ沢川浚渫工事を実施 ・田んぼダムに関する取り組み	地域防災リーダーに町内会連絡協議会会長岩本氏を指名している。 1月開催の町内会長会議の中で報告及び意見をいただく予定	・河川の護岸整備工事、河川の浚渫工事を予定 ・田んぼダムに関する取り組み	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策			・防災訓練の実施(詳細は未定)	

1) 流域対策

- ・ 普通河川の河道掘削及び伐木事業 (R2年度～R7年度 8河川予定)

R4年度 浚渫工事

沼の沢川浚渫工事



着手前



完成



施工状況

【北竜町】流域治水の取り組みについて

1) 流域対策

- ・ 普通河川の護岸整備事業 (R2年度～R7年度 7河川予定)

R4年度 護岸整備工事

美葉牛川護岸整備工事



R4年度実施中

更新川護岸整備工事(着手前・完成)



着手前



完成

1) 流域対策

- 排水機場機能回復事業 (R5年度～R9年度 碧水排水機場予定)



2) 防災対策

- 防災無線の更新 (R元年度、R2年度 実施済)
- ハザードマップ策せ及び住民周知済

3) 治水対策

- ・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として農業施設(田んぼダム)により、雨水を貯留し、内水氾濫被害を軽減

北竜町 水田面積2,788ha、畑面積317ha



田んぼダム 流域貯留施設(平常時)



落水量調整装置等を活用

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

沼田町		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	■田中の沢川浚渫 ■農業施設(田んぼダム)による雨水貯留		■河川の浚渫、法面補修、河道掘削及び伐木等 ■河川維持管理計画の策定 ■農業施設(田んぼダム)による雨水を貯留	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	■防災訓練の実施 ・防災講話、避難所開設・受入訓練等の実施 80名参加(内地域住民34名) ■防災学校の実施 ・小中学生対象 防災カルタ、段ボールベッド組立、Doはぐ避難所運営等の体験の実施 175名参加(内小中学生157名) ■防災資材の調達 ・防災用物品の調達 ・電源供給コンバーターの整備 ・組立式給水タンクの整備	・防災訓練等に参加	■防災訓練又は研修の実施(時期未定) ・防災訓練又は研修に関する事前調整又は参加(時期未定)	・防災訓練又は研修に関する事前調整又は参加(時期未定)

【沼田町】 各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

R4年度においては、東部地区及び西部地区活動組織で農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続して取り組み、また、町管理河川においては、河道断面確保のための浚渫等を行うとともに、河川台帳を活用しながら計画的な河川管理により、「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

- ・田中の沢川浚渫

【工期中のため完了後写真添付します。】

【浚渫 施工前】 【浚渫 施工後】

- ・農業施設(田んぼダム)による雨水貯留

【R4は貯留するまでの気象状況に至らなかったため貯留実績なし】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・防災訓練の実施 ・防災学校の実施
- ・防災資材の調達

【防災用組立式給水タンク】



【次年度に向けた予定】(沼田町)

河川の浚渫・法面補修・河道掘削及び伐木等、河川維持管理計画の策定、農業施設(田んぼダム)による雨水貯留、防災訓練又は研修の実施など、今後も状況に応じた流域治水事業に取り組む。

【沼田町】 住民参加 実施状況について

■令和4年度 住民参加の実施状況(沼田町)

- ・防災訓練では、防災・災害対応の基本講演、段ボールベッドやワンタッチパーテーションの組立実演を体験し、全町民で防災に取り組む意識高揚のきっかけづくりを進めた。
- ・防災学校では、小・中学校を対象に防災意識を高めることを目的に、カルタや段ボールベッド組立、カードゲームでの避難所運営などを体験した。

・防災訓練(防災講話の様子)



・防災学校(Doはぐ避難所運営の様子)



【地域住民からのコメント住民参加方法について】(沼田町)

町内行政区長会議において、避難所運営マニュアルに基づく理解と運用について合意を図るとともに、防災訓練の実施に向け事前に意見を求めながら、参加を促していく。(R4年度に延期)

など

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	次年度以降の取り組み(予定)	住民(地域の防災リーダー等)参加状況
幌加内町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策				
	被害対象を減少させるための対策			・定期的な地区防災訓練、防災懇談会を実施する	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・1日防災学校の実施(防災講話、降雨体験)中学生参加(7月14日実施) ・洪水ハザードマップ更新		・1日防災学校の実施(防災講話、防災体験)小学生対象(6月中旬~下旬に実施予定)	

【幌加内町】 各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

- ・R4年度においては、災害情報を更新した洪水ハザードマップを住民に配布したほか、一日防災学校を実施し、「流域治水」の推進を図った。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・洪水や土砂災害に備えるため生徒の災害時の「生きる力」を育む取り組みとして役場が主体となり、北海道開発局、上川総合振興局などの協力のもと初めて実施。



幌加内中学校 一日防災学校の様子
→ 洪水・土砂災害に備える防災講話



幌加内中学校 一日防災学校の様子
→ 降雨体験学習



- ・災害情報を更新した洪水ハザードマップを配布した。



■次年度に向けた予定

- ・小学生を対象とした一日防災学校を6月頃実施予定。

札幌管区気象台
旭川地方気象台

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
気象台	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【札幌管区気象台】	【札幌管区気象台】
	被害対象を減少させるための対策	【札幌管区気象台】	【札幌管区気象台】
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【札幌管区気象台】 <全般の取り組み> (平時において) ・気象防災ワークショップの推進など、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を実施し、非常災害時にそれらの情報を有効に利用して、被害の軽減に役立てていただく。 (非常災害時において) ・適時・的確な防災気象情報の発表により、自治体や関係機関の防災対応を支援する。 ・災害発生時、または発生が見込まれる場合に、自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を速やかに派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。 ・事後には、関係機関とともに「振り返り」を実施し、情報内容や伝達のタイミング・手段などについての改善点を探り、改善を図る。 <個別の取り組み> ・10月から11月に、空知総合振興局主催で2回開催された「北海道地域防災マスター認定講習」に参画し、防災講座や図上訓練を通じて防災気象情報の利活用に関する啓発活動を実施した。 ・台風や前線などによる大雨で災害が見込まれた3件の事例について、のべ4回にわたって北海道へJETTを派遣し、気象解説を実施した。また、関係機関からの電話での問い合わせに対し、出水期をとおしてのべ408回の解説を行った。 ・8月に妹背牛町・砂川市・歌志内市・上砂川町・浦臼町・新十津川町と、10月に深川市・秩父別町・北竜町・沼田町・雨竜町と懇談を実施し、その中で、防災気象情報の利活用に関する解説を行った。また、深川市・妹背牛町・秩父別町・北竜町・沼田町・歌志内市・浦臼町・新十津川町・雨竜町に対しては6月から8月の大雨事例についての振り返りを実施した。	【札幌管区気象台】 気象防災ワークショップの開催を通じた防災気象情報利活用の促進、JETT派遣等による自治体等の防災対応支援など、以下の取組を進める。 (平時において) ・気象防災ワークショップの推進など、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を実施し、非常災害時にそれらの情報を有効に利用して、被害の軽減に役立てていただく。 (非常災害時において) ・適時・的確な防災気象情報の発表により、自治体や関係機関の防災対応を支援する。 ・災害発生時、または発生が見込まれる場合に、自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を速やかに派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。 ・事後には、関係機関とともに「振り返り」を実施し、情報内容や伝達のタイミング・手段などについての改善点を探り、改善を図る。

□令和4年度 取組状況 当協議会関連自治体等を対象として、ワークショップ等への参画:2回、懇談:23市町村、JETT派遣:4回、能動的ホットライン:2回、事例の振り返り:15回 を実施した。

50

【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み(予定)
気象台	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	【旭川地方気象台】	【旭川地方気象台】
	被害対象を減少させるための対策	【旭川地方気象台】	【旭川地方気象台】
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【旭川地方気象台】 ＜全般的取り組み＞ (平時において) ・気象防災ワークショップの推進など、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を実施し、非常災害時にそれらの情報を有効に利用して、被害の軽減に役立てていただく。 (非常災害時において) ・適時・的確な防災気象情報の発表により、自治体や関係機関の防災対応を支援する。 ・災害発生時、または発生が見込まれる場合に、自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を速やかに派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。 ・事後には、関係機関とともに「振り返り」を実施し、情報内容や伝達のタイミング・手段などについての改善点を探り、改善を図る。 ＜個別の取り組み＞ ・週2回、流域市町村(幌加内町)に対して、Zoomを活用した気象解説を実施している。 ・気象情報等の利活用推進を図るため流域市町村(幌加内町)及び隣接市町、消防機関を対象に複合災害を想定したワークショップを旭川開発建設部の協力を得て8月に実施した。 ・石狩川流域圏会議豪雨災害対策職員研修での講演を7月に実施した。	【旭川地方気象台】 左記＜全般的取り組み＞を継続する。

【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトの取組 ～令和4年度～

■令和4年度 取組内容

- ・ 気象情報が自治体等の防災活動の支援となるよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◆被害を軽減させる取り組みの推進

■あなたのまちの予報官TV

令和3年12月～

旭川地方気象台では、市町村等を対象に住民の具体的な防災行動に結びつけるための取組の一環として、Zoomによる気象解説を週2回（1回5分程度）実施している。今年度は9月16日、18日の台風第14号接近に伴う臨時解説において、旭川開発建設部、留萌開発建設部とともに気象解説・河川情報の共有を実施した。

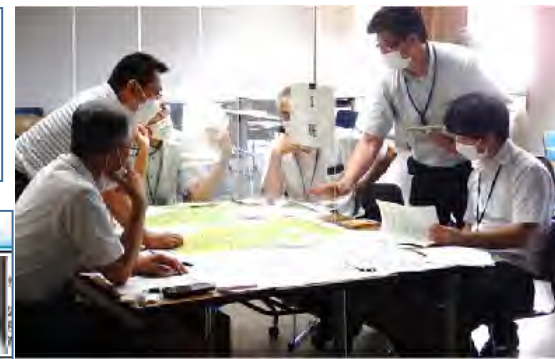


■気象防災ワークショップ

令和4年8月

旭川地方気象台では、市町村防災担当者等を対象とする防災対応力の向上を図る取組として、防災気象情報の種類や意味を理解し、適切なタイミングでの防災体制の強化や避難に関する判断のポイントを学ぶことを目的に気象防災ワークショップを開催している。今年度は旭川開発建設部の協力も得て実施した。また、消防組合の職員も参加した。

実施日：令和4年8月4日
場所：士別市役所第二庁舎
参加機関：幌加内町、士別市、和寒町、
剣淵町、士別地方消防組合
テーマ：土砂災害・洪水害



-令和5年度に向けて-

引き続き、気象防災ワークショップや、Zoomによる気象解説「あなたのまちの予報官TV」を行なう。非常災害時には自治体等に気象庁防災対応支援チーム（JETT）を派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。事後には、関係機関とともに「振り返り」を実施し、情報内容や伝達のタイミング・手段などについての改善点を探り、改善を図る。

空知森林管理署

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

空知森林 管理署 北空知支 署		R4年度取組み内容	次年度以降の取組み(予定)
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林整備】 ・幌加内町外国有林で間伐・植付等による森林整備を実施 【治山対策】 ・北竜町国有林にて治山工事(床固工1基 完成)	【森林整備】 ・深川市外国有林で間伐・植付等による森林整備を実施 【治山対策】 ・幌加内町国有林にて治山工事(床固工1基 谷止工1基 施工予定)
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

■令和4年度 取組内容

- ・林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。
- ・令和4年度においても、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けての森林整備（間伐、植栽、保育等）及び治山事業を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



北空知支署 森林整備



北空知支署 治山事業

引き続き、「流域治水」の取組と連携し森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施予定。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

		R4年度取組み内容	次年度以降の取組み(予定)
森林整備 センター	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施	・引き続き流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

【森林整備センター】流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和4年度 取組内容

- ・ 森林整備 間伐実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



間伐実施前

間伐実施後

次年度以降も計画的に間伐を実施予定

空知総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・東部耕地出張所
- ・北部耕地出張所

上川総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・上川中部整備室

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

空知総合振興局		R4年度取組み内容	次年度以降の取組み(予定)
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課・東部耕地出張所・北部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施	【整備課・東部耕地出張所・北部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

■令和4年度 取組内容

- ・ 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



農業用排水路の整備

農業用水利施設の活用



区画整理

水田の貯留機能向上

令和5年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

上川総合振興局		R4年度取組み内容	次年度以降の取組み（予定）
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	【整備課】 ・関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。	【整備課】 ・関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

■令和4年度 取組内容

- ・ R4年度においては、継続実施している道営農業農村整備事業(5地区)により36.5haの基盤整備を行い田んぼダムの貯留機能が向上した。
田んぼダムの取り組みについて各方面への広報活動を実施。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



令和5年度については、同様に道営農業農村整備事業(5地区)により50.5haの基盤整備を行う予定。
田んぼダムの取り組みについて継続し広報活動を行う。

空知総合振興局 産業振興部

- ・林務課
- ・森林室

上川総合振興局 産業振興部

- ・林務課

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

空知総合振興局		R4年度取組み内容	次年度以降の取組み(予定)
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・江部乙地区小規模治山工事(滝川市)を実施 ・鶉地区復旧治山工事(上砂川町)を実施 ・音江地区小規模治山工事(深川市)を実施 ・空知管内石狩川流域機能強化・老朽化対策工事(砂川市)を実施 ・更新保育工事(沼田町)を実施 ・森林整備事業(間伐、植栽等)を、滝川市、砂川市、深川市、奈井江町、浦臼町、新十津川町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町、上砂川町、歌志内市にて実施 【森林室】 ・温泉地先復旧治山工事(歌志内市)を実施 ・文珠地区予防治山工事(歌志内市)を実施 ・吉住保育工事(深川市)を実施 ・トップ保育工事(新十津川町)を実施 ・東奈井江地区保安林緊急改良工事(上砂川町)を実施 ・空知団地育林事業を滝川市、歌志内市、深川市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町にて実施	【林務課】【森林室】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

上川総合振興局		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・森林整備事業（間伐、植栽等）を幌加内町にて実施	【林務課】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

【空知総合振興局・上川総合振興局】 治山対策・森林整備の概要について

■令和4年度 取組内容

- ・北海道において治山事業により溪間工（治山ダム等）、山腹工（法枠工等）、森林整備（間伐、植栽等）の実施
- ・北海道、各市町村等において森林整備事業（間伐・植栽等）を実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



溪間工（治山ダム等）の実施状況



下刈の実施状況



山腹工（法枠工等）の実施状況



間伐の実施状況

- ・治山事業について、継続事業・保育事業については継続的に実施。また森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に事業を実施。
- ・各市町村等において森林整備（間伐・植栽等）を計画的に実施

空知総合振興局
札幌建設管理部

上川総合振興局
旭川建設管理部

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

空知総合振興局		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	【建設管理部】 ・入志別川の河道掘削等を実施 ・石山川の河道掘削等を実施 ・ラウネ川の河道掘削等を実施 ・ペンケ歌志内川の調査設計を実施 ・真布川などの河道掘削・樹木伐採等を実施 ・オキリカップ支流川砂防施設整備を実施 ・豊里第三地すべり対策施設整備が完了 ・砂防関係施設等（右2の沢川砂防等）の調査設計等	【建設管理部】 ・入志別川の河道掘削等を継続実施 ・石山川の河道掘削等を継続実施 ・ラウネ川の河道掘削等を継続実施 ・ペンケ歌志内川の河道掘削等を継続実施 ・真布川などの河道掘削・樹木伐採等を継続実施 ・オキリカップ川支流川砂防施設整備を継続実施 ・砂防関係施設等（右2の沢川砂防等）の調査設計等継続
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【建設管理部】 ・水害対応タイムラインの運用開始 熊穴川・奈江豊平川・ペンケ歌志内川・パンケ歌志内川・徳富川・多度志川・沼田奔川	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進

■令和4年度 取組内容

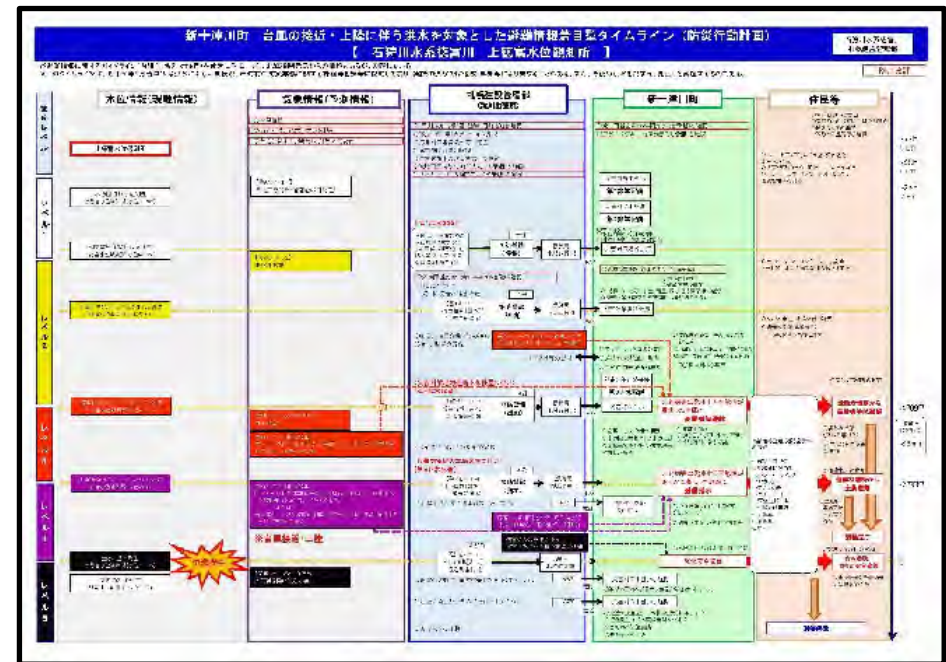
・ R4年度においては、継続実施していた入志別川、石山川、ラウネ川の掘削等による河川整備、オキリカップ支流川砂防施設整備、豊里第三地すべり対策施設整備(完了)を行い、ペンケ歌志内川の河川整備に向けた調査設計に着手、熊穴川や徳富川等のタイムラインの運用を開始し「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



入志別川(掘削工・橋梁架換)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



タイムラインの運用開始(試行)

※計7河川

入志別川、石山川、ラウネ川の河川整備、ペンケ歌志内川の河川整備に向けた調査設計、オキリカップ支流川砂防施設整備を継続実施予定。

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ(取組状況整理表)

上川総合振興局		R4年度取組み内容	次年度以降の取組み(予定)
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・雨竜川の調査設計を実施	【建設管理部】 ・雨竜川河道掘削等実施予定
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

札幌開発建設部

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

札幌開発建設部		R4年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・石狩川築堤整備、雨竜川ダム再生事業 等	引き続き令和4年度の取組を継続実施
	被害対象を減少させるための対策	・水害リスク情報（リスクマップ）の検討等	引き続き令和4年度の取組を継続実施
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・水防教育、防災意識の啓発活動 等	引き続き令和4年度の取組を継続実施

■令和4年度 取組内容

・ R4年度においては、石狩川堤防整備・雨竜川ダム再生事業、水害リスク(リスクマップ)の検討、出前講座等を実施し「流域治水」を推進。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



石狩川(堤防整備)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



出前講座(深川市立一己小学校)

■R5年度取組予定

引き続き令和4年度の取組を継続実施。